

エイズとソーシャルワーク研修会開催

当協会ではこれまで2年に一度、エイズとソーシャルワーク研修会を開催してきました。令和2年度に開催予定だった研修会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け開催が延期されていましたが、今年度オンラインの形で開催することができました。当協会の他、福島県老人福祉施設協議会、福島県介護老人保健施設協会にも開催通知をさせていただき、42名の方にご参加いただきました。

今回は、福島県のエイズ治療を最前線で担っておられる福島県立医科大学附属病院の医師木村哲（さとし）先生、看護師白潟美千代先生をお招きし、福島県のエイズ治療と今後の課題についてご講演いただきました。また、令和元年に当委員会で開催した、「HIV陽性者の受け入れに関するアンケート調査」の報告もさせていただきました。HIV・エイズについて学びを深める良い機会になったと思います。今回のニュースでは参加された方々の感想を掲載したいと思います。

エイズとソーシャルワーク研修会に参加して

かしま病院 服部祥大

医療ソーシャルワーカーとして働き始めて3年が経ちますが、今までエイズ患者の支援を行ったことがなく、知識が全く無かったため、今回エイズとソーシャルワーク委員会研修会に参加させていただきました。

エイズとソーシャルワーク委員会 根本望先生の報告では、エイズ患者の高齢化が進んできており、施設への入所となる方も多くなっていくなかで、施設の受け入れ態勢が進んでいないことを知ることが出来ました。受け入れ

が難しい理由の多くは知識不足・誤解によるものであることもわかりました。私自身エイズについて多少の知識はあると思っていましたが、日常生活では感染する心配がないこと、HIVは治療によって増殖を抑えることが出来、他者に感染することがないレベルであれば性交渉が可能であること、エイズ治療拠点病院があること等、今回の研修で初めて知る事が多かったので、医療・介護の現場で働いていてもエイズの知識がない方も多いのではないかと思います。

福島県立医科大学附属病院 医師 木村哲先生、看護師 白潟美千代先生の講演ではHIV・エイズの基礎知識、現状と課題を知ることが出来ました。エイズ患者に対するソーシャルワーカーの役割として、自立支援医療や高額療養費等を利用した経済的な支援・パートナーや家族との関係の相談支援・仕事を続けられるか、職場に病名を告知するか等の就労に対しての支援を行うことであると想像していましたが、外国人へ通訳を手配するなどの受診の支援や、エイズに対する正しい知識を広く伝える啓蒙活動を行うことも大切であると講演を聞いて感じました。

今回の研修でエイズに関して多くのことを知ることが出来ました。まだまだ知識不足であると思うので、これからもエイズに関する研修に積極的に参加していきたいです。また、エイズ患者の支援を行うことになった際に相談・連携が出来る機関の情報を集めていきたいと思っています。

☆研修会のアンケート回答

当日のアンケートの回答をご紹介します。

○貴重な情報とご講演ありがとうございました。なかなかHIV関連のことに触れる機会がないため、最近の治療や動向についても話を聴くことができ参考になりました。可能でしたら資料は事前にいただくと助かります。

医療機関・社会福祉士



○H I V 診療に関する基本的な知識から、関わり方、配慮が必要な点について学べる貴重な機会でした。MSWに関わる制度についても知ることができたため、それぞれ学びを深めたいと思います。ありがとうございました。

医療機関・社会福祉士

○わかりやすい講演でした。豆知識や具体例などもあり、とてもイメージしやすかったので、自分なりに落とし込むことができました。

医療機関・社会福祉士

○実際に関わったことがほぼない状態でしたので、現場での医師、看護師と患者との関わりを知ることができました。色々な配慮の大切さも改めて理解できました。

医療機関・社会福祉士

○治療現場の実際についてお話を伺えたのは非常に貴重でした。実際にエイズ患者様に関わる際には今回聞いたお話を頭に入れて対応できるようにしていきたいと思います。

医療機関 社会福祉士

○大変 良い時間でした。今はどの施設でもさほどとりあげられていない問題ですが、これから要介護状態になる年齢、50代60代の方の介護問題や、通院にかかる問題（運転ができなくなる等）、これから増えてくるだろう様々な問題に気づかされた研修会でした。H I V 患者への様々な配慮も必要ですが、配慮の一方で、同じように関わってもらいたいと思う患者、同じように支援すべき課題も見えてきたような気がしました。

医療機関・社会福祉士

H I V ・エイズについては、治療を担っている医療機関も少なく、病院のソーシャルワーカーでもなかなか意識する機会がないのが現状かと思いますが、L G B T Q や患者さんの高齢化の問題など、理解を深めていかなければいけないことをあらためて実感できる研修会でした。講師の木村先生、白湯先生からは、「今後も何かできることがあれば声をかけてください」と心強いお言葉をいただきました。私たちソーシャルワーカーに何ができるか、何をすべきか、これからも一緒に考えていけたらと思います。

エイズ委員

インフォメーション

1. 福島県保健衛生学会開催

研修会で報告した、「H I V 陽性者の受け入れに関するアンケート調査」について、令和4年度福島県保健衛生学会で発表させていただくことになりました。10月13日福島市にて開催予定です。

2. 「がんとエイズのケア 包括支援のガイドブック」について

エイズ予防情報ネット A P I - Net よりダウンロードが可能です。長期療養時代を迎えてどのようなケアが必要かなど、事例を通してわかりやすく掲載されています。

